

Introduction to Proteomics

2 units (selection) each-year(1st semester)

Hisaaki Taniguchi · PROFESSOR / INSTITUTE FOR ENZYME RESEARCH, Hiroshi Kido · PROFESSOR / INSTITUTE FOR ENZYME RESEARCH, Yousuke Ebina · PROFESSOR / INSTITUTE FOR ENZYME RESEARCH

Takafumi Noma · PROFESSOR / 口腔健康科学講座, COURSE OF ORAL SCIENCES, Ken-ichi Miyamoto · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES

Target) ポストゲノム時代における医学, 生物学に重要な位置を占めるプロテオミクスの基礎を習得する.

Outline) 遺伝子産物である蛋白質がどのように相互作用して生命活動を制御するかを理解する手段としてのプロテオミクスの理論, 解析法, 応用例を体系的に講義する.

Notice) 講義においてはプリントも配布するが, プロジェクターなどを使用する講義なのでノートの取り方は工夫すること.

Schedule)

	大項目	担当
1.	授業ガイダンス+プロテオミクス序論	谷口寿章
2.	プロテオミクスを用いたインスリンシグナル伝達の解明1	蛭名洋介
3.	プロテオミクスを用いたインスリンシグナル伝達の解明2	〃
4.	プロテオミクスを用いたインスリンシグナル伝達の解明3	〃
5.	健康長寿食品とプロテオミクス1	宮本賢一
6.	健康長寿食品とプロテオミクス2	〃
7.	エネルギー代謝のプロテオミクス1	野間隆文
8.	エネルギー代謝のプロテオミクス2	〃
9.	プロテオミクス解析の疾患への応用【基礎】	木戸博
10.	インフルエンザ脳症のプロテオミクス解析【応用1】	〃
11.	ゲノミクスとプロテオミクスを統合したインフルエンザ脳症の解析【応用2】	〃
12.	プロテオミクスの解析技術	谷口寿章
13.	生体高分子の質量分析法	〃
14.	翻訳後修飾の解析	〃
15.	プロテオミクスの生命科学への応用	〃

Evaluation Criteria) 出席状況, 受講態度, レポートなどにより判断する.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217566>

Contact)

⇒ Taniguchi (+81-88-633-7426, hisatan@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜日の16:00~ 18:00 (e-mail により時間調節を適宜おこないます))

⇒ 他の教員についても, e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい.